

2006年度 明治大学法科大学院 論文試験問題

## 【刑法】

Xは、敵対する暴力団組長Aが同組員Bとともに歩いているのを現認したため、Aを殺害するつもりでAに向けてピストルを撃った。ところが、弾丸はAには当たらず、Aの2メートル後方を歩いていたBの腹部を貫通し、さらに15メートル後方にバイクでやってきたCの胸部に命中した。Bは即死したが、Cは全治2ヵ月を要する重傷を負った。

Xの罪責を検討せよ。